

【取組内容】 学びの手順を示す①

テーマ

①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

1. 単元名 材料と加工の技術

2 章 材料と加工の技術による問題解決  
教材名『自分の生活に生かせる製品を作ろう④』

2. めざす児童生徒像（身に付けさせたい資質・能力）

正しい作業方法を理解し、加工法を選択し他者と協働ができる

3. 評価

技能の評価、実習シート、振り返りの記入

4. 授業者の思い（指導観など・・・）

様々な機器や工具に触れ、日常では体験が難しいことにもチャレンジするのチャレンジを成功体験に変え、将のよりよい生活づくりへとつなげる歩とできるよう、丁寧な指導、適切な工具・機器の使用に努めさせたい。

5. この単元で働かせる見方・考え方

工具や機器を使用する際の注意点や効率よく加工を行うための工夫点等を実際の作業を通しながら発見する。

今年度は、どの教科でもclassroomにて生徒へ学びの手順を提示。探究サイクルを意識した流れで構成し、個別最適な学びになるよう、生徒の自己調整学習の一助になるよう校内で取り組んだ。

【単元計画】

- ①自分の身の回りの課題発見、解決のための課題設定
- ②製作品を考え、製図してみる（等角図）
- ③構想図・模型図を作成
- ④～⑪作成手順を考え製作しよう（8時間構成の本時5/8）
- ⑫製作の振り返りを評価しよう（実習レポートのまとめ）

[（リンク）作業順序・工具の使用/各工程の評価規準](#)

【classroomの表記】

■課題：※各自の作業工程・進捗状況にあった課題を設定してください。

【評価基準】

スプレッドシートを参考に、自己評価までつなげると。

授業の流れ

- ①進捗状況の確認
- ②接合の注意点確認
- ③各自の作業工程へ
- ④片付け（授業終了15分前）
- ⑤振り返り記入
- ⑥翌週の確認

〈情報収集〉

スプレッドシート内動画、教科書

〈整理・分析〉

実際の作業⇒実習レポート

〈まとめ・表現〉

スプレッドシート振り返り（振り返りの視点）

パターン1：自分が行った作業に対して、何をしたら上手くできた、工夫点などを具体的に記入（客観的に自分の作業、変容を評価）

パターン2：上手く作業を行うには～～したほうが良いことがわかった。（学びの過程や比較）

パターン3：次は～～～して作業を行う。（自分の次時をイメージ、技能の活用）

※この3つの視点を交えながら振り返りは記入する

★重要な作業

- ・材料へのけがき+切断（木材）+接合（くぎ打ち）
- ・振り返りや進捗状況の共有

## リーディングDXスクール事業

## 【実践事例】

沖縄市立コザ中学校（沖縄県）【指定校】

## 【取組内容】 学びの手順を示す②

テーマ

①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実



手順や進捗状況を確認しながら  
1人で作業に取り掛かる生徒。



友達と協力しながら作業を進める生徒。



## 【変容：考察】

これまでも技能教科では、個別のペースで作業を進めることができたが、クラウドを活用することで、生徒の作業の進捗状況を瞬時に把握できるようになった。また、classroomに学びの手順を示すことで、学年や学級が変わるたびに板書を書き直す手間も省け、欠席生徒がいた際もclassroomがあることで、前時を振り返りやすくなった。そのため、安心して自分の作業を進めることのできる様子が見られる。その他にもこれまで以上に生徒への個別のサポートに入ることができるようになったため、授業時間内で完成させることのできる生徒が増えた。



リーディングDXスクール事業 【実践事例】

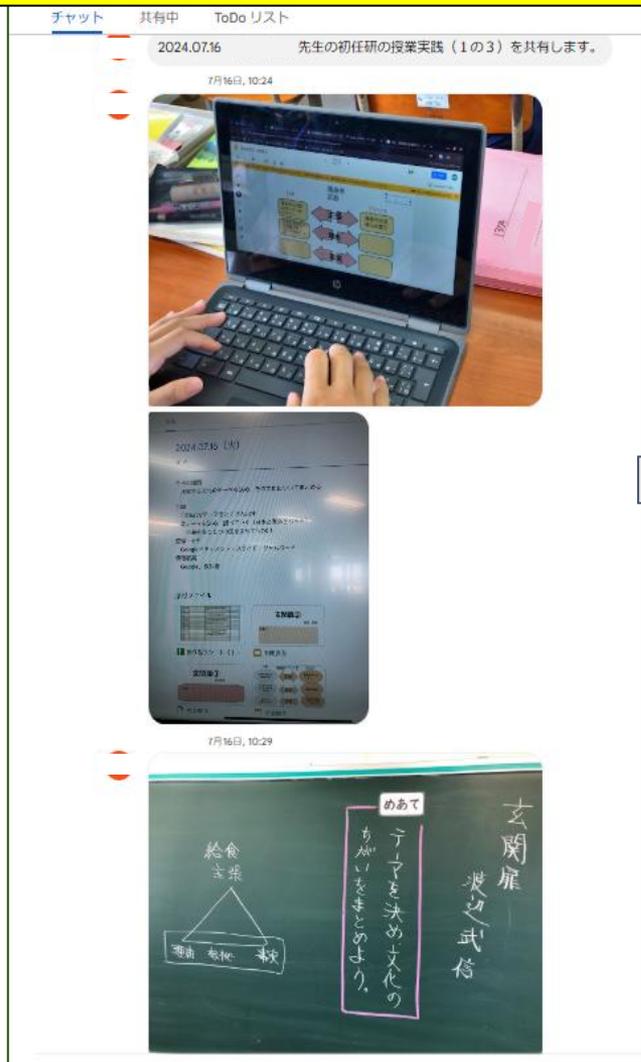
沖縄市立コザ中学校（沖縄県）【指定校】

【取組内容】 Google chat 活用 オリエンテーション①

テーマ

②情報活用能力の育成(生徒)

まずは、教職員chatの活用を促進



chatの活用に向け保護者へ公文を配布

事務連絡  
令和6年6月吉日

保護者各位

沖縄市教育委員会  
教育長 高江洲 実  
(公印省略)

児童生徒の学びをさらに充実させるための Google チャットの活用について

平素から本市の教育に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、この度、沖縄市立小中学校では児童生徒の学びをさらに充実させるために、チャットツールを活用した学習を導入することとなりました。

1. チャットツールのメリット  
→チャットツールを活用した学習には、以下のようなメリットがあります。

- 個別最適な学習が可能: 児童生徒一人ひとりのペースや理解度に合わせた指導を行うことができます。
- 主体的な学習を促進する: 児童生徒自身が質問したり、意見交換したりすることで、主体的な学習を促進することができます。
- 学習の記録を残しやすい: チャットでのやり取りは記録として残すことができるため、学習の振り返りに役立てることができます。
- 授業の中で情報モラル指導: 学びのツールとして活用する中で、伝達ツールでのマナーやルールを守って活用する必要性を学ぶことができます。(SNSの正しい活用につながります。)

2. チャットツールの具体的な活用方法  
→以下の目的でチャットツールを活用していきます。

- 課題のサポート: 児童生徒が課題で分からないことがあれば、教師、友達とチャットを通じて質問することができます。
- 個別指導: 児童生徒一人ひとりに合わせた指導を行うことができます。

3. 安全対策について  
→児童生徒が安全にチャットツールを利用できるよう、以下の安全対策を実施しています。

- 教員の指導: 教員がチャットツールの安全な利用方法を指導します。
- 定期的なモニタリング: チャットツールの利用状況を定期的にモニタリングし、問題があればすぐに対応します。

チャットツールを効果的に活用することで、児童生徒の学びをさらに充実させることができると考えております。保護者の方々と協力して、より良い教育環境を作っていきましょう。ご理解の程お願い致します。

教職員での活用を活性化していくことで、児童生徒への活用へとつなげていくステップで、取り組んだ。保護者への公文も作成し、活用に向けて理解の上でchat活用スタートの準備を進めてきた。写真等を活用して、共有できるよさは、授業の中での活用イメージとも繋がった。

【児童生徒向け】 Googleチャット

# リーディングDXスクール事業 【実践事例】

沖縄市立コザ中学校（沖縄県）【指定校】

【取組内容】 Google chat 活用 オリエンテーション②

テーマ ②情報活用能力の育成（生徒）

**目的:**

- ① Google Chatの基本的な機能と使い方を理解する。
- ② Google Chatを学習で有効活用する方法を知る。
- ③ 情報活用能力の育成と、より良いコミュニケーションの促進を目指す。

**対象:**

- ①生徒全員

**実施形式:**

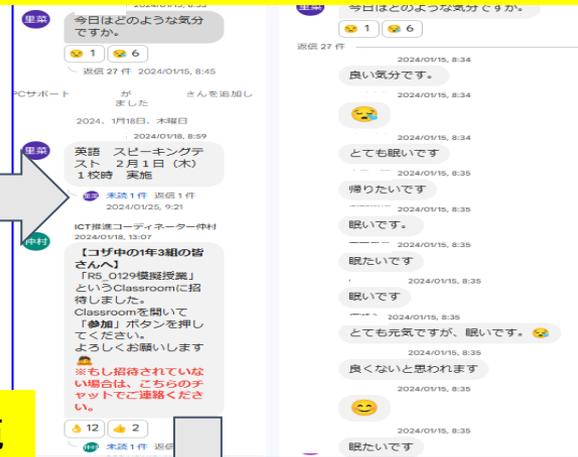
- ①全体説明会（スライドを用いた説明、デモンストレーション）
- ②グループワーク（Google Chatを使った演習）

**振り返り**  
スライドの注意事項を1つ1つ確認してchat活用をスタートしたが、しばらく学習以外で活用する生徒もいた。授業改善が進み、最近は見られなくなっている。



学年でオリエンテーションを実施

本格始動前：担任とchatで対話



沖縄市GIGA Advance Web

Google Chat

Googleチャットを学校現場で活用するメリット

- (1) コミュニケーションの効率化
- (2) 情報共有の迅速化
- (3) コミュニケーションの活性化
- (4) 情報モラル教育の強化

学校内外でのコミュニケーションにGoogleチャットを活用することで、スムーズな情報共有・業務改善に繋がります。また、児童生徒と一緒に活用することで、意思疎通や主体的な学習をさらに深め、子どもたちの学びをさらに充実させることができます。

Googleチャットってなに?

「みんなで情報を交換するところ」

ダイレクトメッセージ

スペース

みんな

chat開き スライド

よい使いかた

- 考えを書き出す
- 情報を共有する
- テイネイな言葉づかい
- リアクション(反応)する

気をつけること

- 学習以外のやりとり
- 言葉づかい
- 相手がキズつく言葉
- 写真を勝手に送る

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

沖縄市立コザ中学校（沖縄県）【指定校】

【取組内容】 教師も生徒も相似形の学び 教科書読解

テーマ ②情報活用能力の育成（教師）

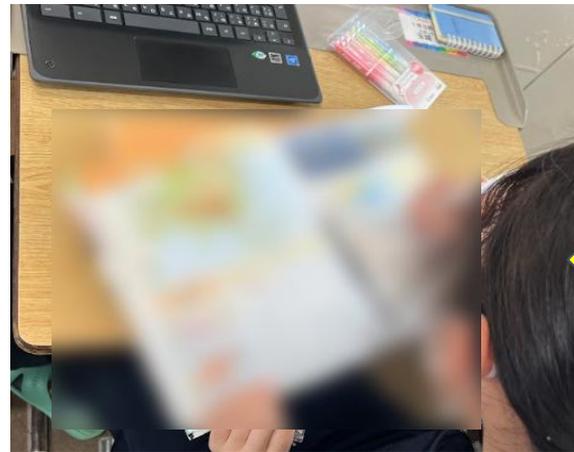


①教科書の構成を学ぶ

②生徒と同じように気付いたことを話し合う。

③生徒と同じように教師も教科書を読み取る（情報収集）

自立した学習者に向けて、生徒へ学び方を指導することは欠かせない。学ぶ際の手立てとして教科書とクラウドの活用は、課題解決に向けて必須になる。探究サイクルに応じた教科書の活用法を教師も改めて学んだ。これらは、教科問わず汎用的なスキルになるため、全職員で取り組み、日々の授業の中で生徒への指導を繰り返している。



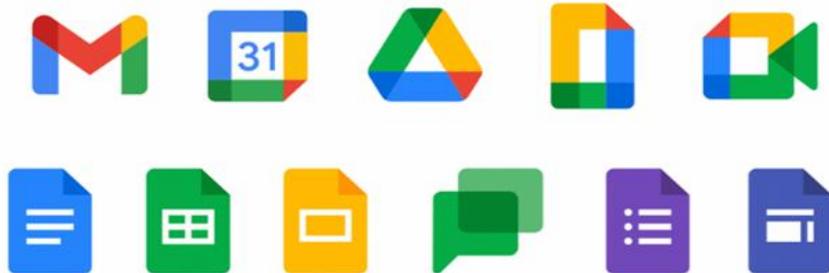
⑤教師が学んだ情報収集の仕方を生徒へ指導。

④今日の課題をもとに自分の情報収集した内容を交流。

## リーディングDXスクール事業 【実践事例】

沖縄市立コザ中学校（沖縄県）【指定校】

## 【取組内容】 校務改善 クラウドの十全活用



これまでの紙ベースの運用では、配布資料のお知らせや回覧漏れなどが発生しやすく、教員間の情報共有にも時間がかかっていた。しかし、クラウドを活用するようになり、必要な情報がいつでもどこからでもアクセスできるようになった。情報共有の正確性が向上し、教員の負担が軽減されている。またクラウド活用は、ペーパーレス化につながり印刷コストの削減だけではなく、資料準備の必要がなく、更なる業務改善になっている。しかし、それ以上に大きなメリットは会議時間の短縮である。従来の会議では、紙資料を利用し、その説明に時間を要した。クラウドを活用することで、事前に資料を共有し、コメントや意見を非同期で共有することが可能なり、時間が短縮され、より本質的な議論に集中できるようになった。

職員朝会資料：スプレッドシートにて共有

1月14日（火）
<b>1.【教頭より】※ダブルクリックして入力 ※改行するとき：Altキー+Enterキー</b> 授業参観 ・ICT支援員 公開授業まで毎日来ます。
<b>2.【教務から】</b> <b>（お知らせ）</b> 1. 次年度計画各部への要望（締切12/20金）⇒ 各部への要望・行事日程調整 2. 1/22の発表に必要です。生成AIを活用した場合入力してください⇒ 241226_沖縄市諸見小・コザ中生成AI事例集 3. 日課表に関するアンケート分析結果⇒ 本年度の日課表に関するアンケート結果分析 3. 日課に関するアンケート⇒ <a href="https://forms.gle/5v">https://forms.gle/5v</a>
<b>（継続事項）</b> 1. 公開授業指導案貼り付け⇒ 250121_コザ中LDX公開授業・公開研修会⑤ 2. 指導案様式⇒ LDX指導案 3. 公開授業時刻⇒ 調整 1月21日（火）公開授業 時刻割 4. 公開授業日の流れ⇒ R7.1.21 LDX公開授業日程 5. 成績入力完了者⇒ 学年末成績のスズキ校務入力状況 6. 月行事⇒ 1月.pdf 7. 生成AI動画⇒ 《コザ中》Gemini アカデミー 8. テストのデータ（問題用紙・解答用紙・模範解答）
<b>【重要資料・アンケート等リンク貼り付け】</b> 1. 生徒の活躍.docx 2. AI承諾書調べ 3. 各教科時数カウント表.pdf 4. コザ中R6 年休時間と取る基準.pdf
<b>3.【諸連絡：発表あり】※コメント入力1人につき1セル 足りないときはセルを追加</b> <b>1月17日(金) 16:30～ 第3回実用英語技能検定(英検)</b> があります。 会場は1学年の全教室を使用する予定。リスニングもあるので、放課後の放送は控えてください。 部活動の階段タッシュユ、楽器の音だし等、1学年教室の付近は避けていただきますよう、協力お願いします。
校長先生、教頭先生はじめ、多くの先生方参加・応援ありがとうございました。全敗でしたが、AIで他校に負けじと頑張りましょう。
<b>教育相談</b> ①第3回不登校ヒヤリングのための資料作成→各担任のフォルダにデータあり。❌切 1月28日(火) 詳しい作成ポイントは、__信済。ご確認ください。 ②i-checkの調査（紙媒体）→ ❌切1/15(明日)久美子まで 忙しい時期ですがよろしくお願ひします。
<b>LDX公開授業</b> ①1月16日(木)放課後に研究所の職員が来校し、公開授業に向けての準備をします。3階広場で準備をしますが、卓球部の活動に支障が無いよう依頼しています。よろしくお願ひします。また、椅子の搬入は、前日の20日(火)にしたいと考えています。部活生の協力、よろしくお願ひします。 ②公開授業の指導案の貼り付けをお願いします。
板に、フック物集回洗口に関する署名と不用品提供のお願ひを投稿してあります。是非ご協力をお願ひします。